

題材名：

ブルタバ(モルダウ)～曲に託された祖国への思い～
(全3時間扱い中 第1時)

授業日時 令和3年6月30日(水)

授業学級 3年D組

授業会場 音楽室

授業者

(1) ねらい

ブルタバの2つの源流を聴く場面で、音楽や映像、スコアから感じ取ったことを友と意見交換することを通して、イメージと音楽の構成要素の関わりを理解することができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：冒頭からテーマまでの旋律は、どのような源流を表現しているのかを考える。
- ・活動：旋律の動きや音の高低、楽器同士の掛け合いや音色に着目して考えたことを友と意見交換する。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1.『ブルタバ』を冒頭からテーマ前まで聴き、どのような情景が表現されているのかを想像する。	○「これから聴く旋律はある情景をイメージして作られました。」 ◇曲の詳細は伏せ、第一印象で自由に想像する。 ◇2つの源流がテーマであることを伝えたのちにワークシートを配布し、どんな源流なのか、具体的な根拠を挙げながら考える。 ◇生徒の反応を取り上げながら、学習問題を設定する。	10
	【学習問題】 どのような源流が表現されているのだろうか。		
	2. 本時の見通しをもつ。	◇どのような源流をイメージしたのか、どこからそう感じ取ったのかを問い、学習課題を据える。	
	【学習課題】 旋律の動きや音の高低、楽器同士の掛け合いや音色に着目して考えたことを、友と意見交換しよう。		
展開	3. 映像付きで、使用楽器に着目しながら聴く。	◇はじめに4人班に分かれておく。 ○「冒頭はどんな楽器が使われていましたか。」 ◇オーケストラであることも触れ、楽器とその音色を結び付けながら聴き、どのような源流なのか、映像からヒントを得ながら考える。	15
	4. スコアを見て、楽器同士の掛け合いや音形に着目しながら聴く。	○「スコアを見て、楽器が登場する順番や楽器同士の掛け合いに注目しながら、もう一度聴いてみましょう。」 ◇Aを流しながら、映像とスコアから感じ考えたことを班で意見交換する時間を設ける。 【評価】 標題のイメージと音楽の構成要素の関わりを理解し、豊かな想像力で、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ取っている。(観察・ワークシート)	20
終末	5. 本時の学習を振り返る。	○「本時の学習を通して考えたことや感じたことを振り返りましょう。」	5

ブルタバ（モルダウ）～曲に託された祖国への思い～

【 月 日（ ）】

3年 組 番 氏名

♪学習問題

♪学習課題

	①音楽を耳で聴いて、目で見えて感じたこと イメージしたこと	②そのように感じた理由 音楽の構成要素に注目して気付いたこと
CD		
映像		
スコア		
♪お気に入りポイント・表現方法 友達に紹介しよう！		

♪今日の振り返り・感想

